

進路指導室から 第331号

はじめに

今日は、7月4日（日）です。先週末から関東・東海地方では、大雨の影響による大きな災害が発生しています。被害に遭われた方に対しましては、お見舞い申し上げます。少しでも早い復旧を願っています。

さて、8日（木）～10日（日）に行われる文化祭前の最後の日曜日ともあって、準備のために登校している生徒が多くいます。外からはどこからともなく楽器の音が聴こえてきます。また、教室では大量の段ボールを持ち込んで何かを製作しています。生徒たちが仲間たちと創意工夫しながら取り組む姿を見るのはいいものです。

今年度の文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、生徒のみの参加で、文化系クラブの発表とクラス展示のみで実施します。一般公開（保護者の方を含む）は中止となりますが、文化祭の様子は、後日、ホームページ(MOTO SITE)で紹介されます。

「調査書の点数化」について

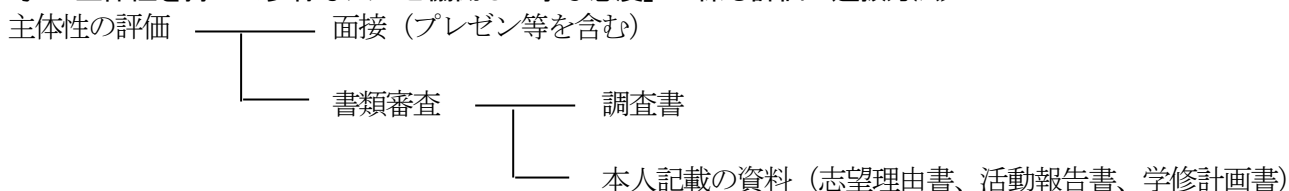
大学入試改革の柱の一つに、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に係る評価の積極的な導入があります。2017年7月に文部科学省から通知された「入学者選抜実施要項の見直しに係る予告」には、「一般入試の課題の改善」について以下のように触れています。

<一般入試の課題の改善> ① 筆記試験に加え、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をより積極的に評価するため、調査書や志願者本人が記載する資料等（※）の積極的な活用を促す。各大学の入学者受入れの方針に基づき、調査書や志願者本人の記載する資料等をどのように活用するのかについて、各大学の募集要項等に明記することとする。

※ その他、エッセイ、面接、ディベート、集団討論、プレゼンテーション、各種大会や顕彰等の記録、総合的な学習の時間などにおける生徒の探究的な学習の成果等に関する資料やその面談など。

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に係る評価の選抜方法については下のように整理されます。

【参考：「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に係る評価の選抜方法】



ところで、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に係る評価について、旺文社教育情報センターが2021年度入試の一般選抜について全大学を調査したところ、「調査書の点数化」を行った大学は20.0%、同様に「本人記載の資料の点数化」は9.2%という非常に少ない結果となったようです。

【調査書等の点数化 実施状況】

	国立大学		公立大学		私立大学		全 体	
	大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合	大学数	割合
(a) 調査書の点数化	23	28.0%	21	22.6%	108	18.4%	152	20.0%
(b) 「本人記載の資料」点数化	18	22.0%	15	16.1%	37	6.3%	70	9.2%
上記合計 ((a) + (b))	30	36.6%	25	26.9%	122	20.8%	177	23.3%

【参考】「本人記載の資料」提出 (b) および点数化しない大学	32	39.0%	24	25.8%	調査外	調査外	56	32.0%
------------------------------------	----	-------	----	-------	-----	-----	----	-------

※ 2021年一般選抜。全大学の募集要項を調査。専門職大学は除く。コロナの影響で実施を見送った大学は除く。

※ 表は大学数で集計。調査書と本人記載の資料の点数化を1入試でも行っていればカウント。

※ 「点数化」とみなして集計した入試…調査書、本人記載の資料について、①配点を公表、②段階評価、③ボーダー利用（ボーダーで学力試験の得点が並んだ場合に利用）。

※ 次のような入試は除外…例：調査書、本人記載の資料について、「配点非公表」、「総合的に判定」、「面接の参

考資料]、「面接 100点に調査書を含む」、「書類審査で著しく適性を欠く場合は不合格」など、英語の外部検
定利用入試も原則除外（調査書における外部検定加点）。

上の表の結果は大学単位によるもので、調査書と本人記載の資料の点数化を1入試でも行っていれば大学とし
てカウントしているため、入試全体の割合はもっと少ないと思われます。

その理由の一つに「新型コロナウイルス感染症」の影響があります。国立大学では、帯広畜産大学、弘前大学
※1、福島大学、筑波大学、信州大学-理学部※2、徳島大学、熊本大学、東京都立大学があります。これらの
大学では、学校休業による学校活動への影響、大会や資格・検定試験の中止、状況が改善しても地域等での差が
予想されたことなどから、見送られました。

※1 調査書の点数化は見送ったが、本人記載の資料の点数化は実施。

※2 他の学部は実施。 ※3 取りやめではなく、全受験者を一律満点に。

なお、その一方で、2022年度入試で新たに、信州大学教育学部（一部専攻）では「調査書の点数化」が行われ、
三重大学（教育学部）と岡山大学（教育-養護教諭養成）では「志望理由書等」が導入されますので注意が必要
です。

「夏休みに取り組むこと」について

あと少しで夏休みを迎えます。「夏休みに取り組むこと」に関わって、6月16日（水）の毎日新聞の「大学受
験 NOW」で、駿台教育研究所進学情報事業部長 石原賢一さんから「大学入学共通テスト」について、大学通信常
務取締役 安田賢治さんから「オープンキャンパス」について以下のようなアドバイスが掲載されていました。

■ 「大学入学共通テスト」について

- 2年目の共通テストはどんな傾向になりますか。

確実に難しくなるでしょう。過去の入試制度の変更で2年目の総合得点の平均点は初年度よりも、共通1
次試験で19点、大学入試センター試験では36点下がっています。これは新しいテストの導入後に共通した傾
向です。

1年目は極端な平均点の低下を避けるため、出題レベルの難易度を比較的抑えます。今回は数学の計算問
題が易しかったですね。大学入試センターは初年度の平均点をみて、知識・技能に関する部分をレベルアッ
プさせていきます。来年は難しくなると思ったほうがいいでしょう。

- 今年の出題傾向を踏まえ、夏休みを控えたこの時期からの受験準備で必要なことを教えてください。

センター試験の過去問を使って、知識・技能の部分を早いうちに固めておくことです。難しくなるとい
つても、出題はセンター試験の時と変わらないので、夏休みには過去問で基礎的な知識をおさえましょう。

共通テストになって大きく変わったのは出題形式です。問題文の量が増えて、複数の資料や実用的な内容
の説明が多くなり、読解力や思考力、判断力が必要になりました。来年も、予想もしないオリジナル性の高
い問題が出てくるでしょう。見たことのない問題が出て動じないようにしてください。

■ 「オープンキャンパス」について

オープンキャンパスは、大学とはどんなところなのかを知る機会であり、入学後のミスマッチを防ぐこと
にもなります。受験生はぜひ足を運んでほしいと思います。できれば第1、第2志望校に加え、自宅に近い
大学の計3校を見てほしい。行きたい大学を相対化してみることができます。

(中略)

訪問する前には大学のパンフレットをよく見ておくことをお勧めします。当然ですが、パンフレットはき
れいな写真で作られています。実際との違いを知ること大切ですね。特に学校推薦型、総合型選抜の受験
生は、そこを第1志望に受けるわけですから、パンフレットをよく読み込んで訪問しましょう。

模擬授業はできるだけ受けてください。興味のある科目で、どんな授業が行われているかを知ることは大
学生活を送るうえで重要です。施設・設備面では、自分が過ごすことを考え、教室や、みんなで集まって話
し合える場所があるかなどを見る。新型コロナ対策がしっかりできているか、チェックも大切です。

多額の費用をかけて全教室に空調を入れるなど、どの大学も対策を進めています。この教室で何人が、ど
のくらいの間隔を空けて座って授業を受けるのか、対面とオンライン授業の割合など、大学側から説明もあ
るかと思います。自分でも確認するようにしてください。

終わりに

七夕祭りが近づき、スーパーマーケットで短冊が飾られています。今年も新型コロナウイルス感染症の早い終
息を願うものがたくさんありました。広島感染者はずいぶん減りました。まだまだ油断は禁物です。全国的に
感染者数が減らないかぎりには安心できません。
(文責：進路指導部 池本 邦彦)